

2018年8月7日

WebOTX 利用者各位

日本電気株式会社
クラウドプラットフォーム事業部

WebOTX 上に CORBA アプリケーションを配備・実行されているお客様への重要なお知らせ

WebOTX では、V9 より製品体系の変更を行いました。

その結果、WebOTX V9 (2013/5 出荷)以降、CORBA アプリケーションを WebOTX 上に配備して実行する場合は、Enterprise エディションが必要となりました。

※V8 あるいはそれ以前のバージョンでは Standard, Enterprise でサポートしていました。

※Standard より下位のエディションでは、以前よりサポートしていません。

本件に関するお問い合わせや、誤手配がありましたため、改めてお知らせいたします。

以下に、新規手配時、あるいは現行環境をバージョンアップする場合の対象の製品や手配方法について説明します。

【重要】

WebOTX V9 よりも前のバージョンの Standard エディションを購入して CORBA アプリケーションをご利用のお客様に限り、特別対応として WebOTX Application Server Enterprise V9 への無償バージョンアップパスを設定しています。

バージョンアップ後の保守契約は WebOTX Application Server Enterprise V9 で再締結してください。

なお、Enterprise エディションは、V9 が最新です。

表 1 Enterprise エディションの最新バージョン

OS	バージョン
Windows x64	V9.5
Windows x86, Linux x64, HP-UX	V9.4
Linux x86	V9.3

1 製品体系変更の理由

CORBA アプリケーションを利用したシステムは、大量のアクセスや高い信頼性が求められる大規模基幹システムで利用されることが多い傾向にあります。

このシステム要件を満たすため、大量のサーバを一元管理し負荷分散やフェイルオーバーを行う機能を備えた最上位エディションである Enterprise エディションでの提供とさせていただきました。

一方、Standard エディションは、現在主流の Java EE アプリケーションのみに絞り込み標準価格を抑えることにより、より多くのお客様にご利用しやすいものとしたしました。

今後、Enterprise エディションは WebOTX V9 系でサポートを継続します。WebOTX V10 以降は Express / Standard エディションのみ出荷します。

表 2 お得な構成例：2コア利用時、Java EE アプリケーションのみ実行する場合 (Windows / Linux 版)

	製品名と必要ライセンス	合計額
従来の 購入製品	WebOTX Application Server Standard V8.4 × 1	¥3,600,000
	WebOTX Application Server Standard V8.4 CU License × 1	
最新購入製品	WebOTX Application Server Standard V10.1 × 1	¥1,200,000

(*)V9 以降の Standard の場合、CORBA アプリケーションは利用できません。

¥2,400,000 もお得に！

表 3 お得な構成例：2コア利用、かつ CORBA アプリケーションを WebOTX 上に配備して実行する場合 (Windows / Linux 版)

	製品名と必要ライセンス	合計額
従来の 購入製品	WebOTX Application Server Standard V8.4 × 1	¥3,600,000
	WebOTX Application Server Standard V8.4 CU License × 1	
最新購入製品	WebOTX Application Server Enterprise V9.5 × 1	¥2,800,000

¥800,000 もお得に！

【参考】

WebOTX V9 では、単体のライセンス 16 本分をまとめて購入できるボリューム・ライセンスを用意しています。単体のライセンス 16 本分の価格から 20%ディスカウントしています。

2 CORBA アプリケーション利用有無の確認方法

次のケースでは CORBA アプリケーションを利用しています。

- ・ WebOTX 上に CORBA アプリケーションを配備して実行している
- ・ WebOTX VIS Connector を用いて ACOS などのシステムと連携している
- ・ 画面テンプレート機能を利用している
(WebOTX VIS Connector や画面テンプレート機能は
CORBA アプリケーションを作成して WebOTX 上に配備するため)

以下、具体的な確認方法について記載します。

2.1 統合運用管理ツールや運用管理コマンドから確認する場合

2.1.1 統合運用管理ツールから確認

- (WebOTX V6 以降)
プロセスグループの属性の基本設定タブ「モジュールの種類」(*1)が「CORBA Java」等、「CORBA」を含む値になっている
- (WebOTX V5 以前)
プロセスグループのプロパティ「コンポーネントの種類」(*1)が「EJB」以外の値になっている(「EJB2.0(J2EE)」や「EJB1.1」以外の値)

2.1.2 運用管理コマンドから確認

- (WebOTX V6 以降)
該当の属性に対して get コマンドを実行した結果が「9」以外の値になっている

コマンド入力例 : domain1 の場合(ポート番号 6212 が既定値)
otxadmin> login --user admin --password adminadmin --port 6212
otxadmin> get tpsystem.applicationGroups.(アプリケーショングループ名).processGroups.(プロセスグループ名).lang
- (WebOTX V5 以前)
コマンドからは確認できません。統合運用管理ツールから確認してください。

2.2 開発環境製品から確認する場合

- WebOTX Developer (WebOTX V6 以前 WebOTX 開発環境) の CORBA アプリケーションの開発機能を使用している。(*2)
- WebOTX Connector Developer (WebOTX V6 以前の製品名 WebOTX コネクタ開発環境) を

使用している。

2.3 配備方法から確認する場合

- (WebOTX V6 以降)
パッケージングを行う場合は、コマンド `makecpk` で `.cpk` ファイルを作成している
- (WebOTX V5 以前)
アプリケーション(`.jar` / `.dll` / `.so` / `.sl`)と同時に `if` ファイル(`.if`) を配備している。(*3)

(*1)WebOTX V9 以降では、「アプリケーションの種類」となっています。

(*2)WebOTX V7 以降では、WebOTX Developer は提供する開発機能により「WebOTX Developer (with Developer's Studio)」と「WebOTX Developer (for CORBA Application)」に分かれています。

CORBA アプリケーションを開発するためには「WebOTX Developer (for CORBA Application)」の機能が必要です。

「WebOTX Developer (for CORBA Application)」の機能は WebOTX V9 までのすべての OS の「WebOTX Developer」で提供しています。

(*3)if ファイルは CORBA アプリケーションのインタフェースを定義しているファイルです。

3 手配方法

サーバ側に CORBA アプリケーションを配備して実行するためには以下の手配が必要です。

現行環境の利用バージョンや構築予定の WebOTX のバージョンにより手配方法が異なります。

別紙 1 「WebOTX 上に CORBA アプリケーションを配備・実行する場合の手配方法」(WebOTX_CORBA_Application_1.pdf) をご参照ください。

4 WebOTX Application Server 製品 バージョンアップパスまとめ

別紙 2 「WebOTX Application Server 製品における購入製品のバージョンアップパス」(WebOTX_CORBA_Application_2.pdf) をご参照ください。

5 問合せ先

製品に関するお問い合わせ

- WebOTX 製品お問い合わせ窓口
info-webotx@isd.jp.nec.com

ダウングレードサービスに関するお問い合わせ

- Web サイト
<https://jpn.nec.com/webotx/appserver/product/downgrade.html>
- ダウングレードサービス相談窓口
downgrade-webotx@isd.jp.nec.com

6 改版履歴

版数	改版日	改版内容
初版	2015/3/25	初版発行
第二版	2015/4/17	組織名を最新化 冒頭の紹介文に文章追加 表番号と表タイトル位置修正
第三版	2018/8/7	組織名を最新化 製品名、バージョンを最新化

以上